

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2021年9月28日[当初、2026年4月17日]まで (2016年4月18日設定)	
運用方針	iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)に投資を行います。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。株式以外の資産への実質投資割合(信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合)は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。	
主要運用対象	ベビーフンド	iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 償還報告書(全体版)

[繰上償還]

# iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン

愛称：Jアクティブ

信託終了日：2021年9月28日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、9月28日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00~17:00、  
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額		
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率					
	円 銭		円		%	%	%	百万円		
7期(2019年10月17日)	10,144		0		2.7	192.75	2.0	97.4	—	946
8期(2020年4月17日)	9,770		0	△	3.7	184.18	△ 4.4	93.5	—	850
9期(2020年10月19日)	11,179		1,100		25.7	214.27	16.3	97.2	—	900
10期(2021年4月19日)	12,049		2,000		25.7	244.11	13.9	96.7	—	860
(償還時)	(償還価額)									
11期(2021年9月28日)	13,004.36		—		7.9	269.29	10.3	—	—	867

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスとは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスは、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド(以下「STOXX社」)が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2021年4月19日	12,049	—	244.11	—	96.7	—
4月末	11,651	△3.3	236.52	△ 3.1	97.4	—
5月末	11,693	△3.0	238.41	△ 2.3	97.4	—
6月末	11,813	△2.0	245.77	0.7	97.0	—
7月末	11,448	△5.0	240.77	△ 1.4	97.7	—
8月末	11,879	△1.4	255.03	4.5	97.7	—
(償還時) 2021年9月28日	(償還価額) 13,004.36	7.9	269.29	10.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第1期～第11期：2016年4月18日～2021年9月28日

## ▶ 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第11期末	13,004.36円
既払分配金	6,900円
騰落率	130.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

償還価額は設定時に比べ130.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（81.3%）を49.3%上回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

世界各国による積極的な金融政策や財政政策に加え、新型コロナウイルスのワクチンの接種普及による経済正常化への期待などを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

米中通商交渉の激化や新型コロナウイルスの世界的な蔓延により経済への悪影響が懸念されたことなどを背景に国内株式市況が一時的に下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

第1期～第11期：2016年4月18日～2021年9月28日

## 投資環境について

### 国内株式市況

#### 設定来の国内株式市況は上昇しました。

設定時から2018年1月中旬にかけては、米国の積極的な財政政策期待や国内での衆議院選挙での与党の大勝、好調な国内企業業績などをうけて、上昇しました。

2018年1月下旬から12月下旬にかけては、米金利上昇による経済への悪影響や、米中通商交渉の激化などが懸念され下落しました。

2019年1月上旬から12月中旬にかけては、米中通商交渉に対する過度な懸念が後退したことや、欧米での金融緩和姿勢を受けて、過度な世界経済の悪化懸念が後退したことなどから、上昇しました。

2019年12月下旬から2020年3月中旬にかけては、国内企業の業績悪化懸念に加え、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により経済への悪影響が懸念され、下落しました。

2020年3月下旬から信託終了日にかけては、世界各国による積極的な金融政策や財政政策に加え、新型コロナウイルスのワクチンの接種普及による経済正常化への期待などから上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン

iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国の株式に投資を行いました。株式実質組入比率は、設定時より概ね高位水準を維持しました。第11期（2021年4月20日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、信託終了日にかけてマザーファンドの償還金を受領しました。

### iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザー ファンド

信託期間を通じて、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスの構成銘柄に加え、高水準の自己資本利益率（ROE）を維持することが見込まれる銘柄や、ROEの改善余地が大きいと考えられる銘柄を投資対象とし、企業価値向上が期待できる銘柄を選別し投資してまいりました。

第11期（2021年4月20日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、繰上償還に向け2021年9月17日に保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

第11期：2021/4/20～2021/9/28

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

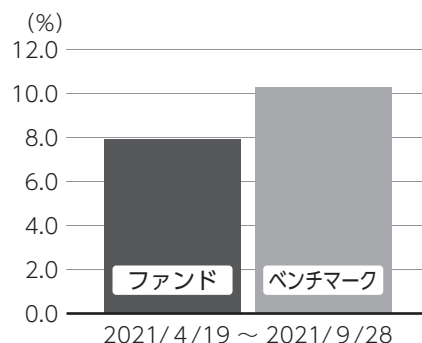
設定来のファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（81.3%）を49.3%上回りました。

実質的な運用を行っているマザーファンドの騰落率がベンチマークを上回ったことが主な要因です。

第11期のファンドの騰落率は7.9%の上昇とベンチマークの騰落率（10.3%）を2.4%下回りました。

実質的な運用を行っているマザーファンドの騰落率がベンチマークを下回ったことや、信託報酬等の運用上の費用を計上したことなどが主な要因です。

基準価額（ベビーファンド）と  
ベンチマークの対比（騰落率）



マザーファンドにおけるベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

### プラス要因

業種配分要因：その他製品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

銘柄選択要因：「レーザーテック」、「ベイカレント・コンサルティング」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

### マイナス要因

業種配分要因：医薬品をベンチマークに対して概ねアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

銘柄選択要因：「ソフトバンクグループ」、「昭和電工」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第1期150円、第2期500円、第3期1,500円、第4期1,200円、第5期450円、第9期1,100円、第10期2,000円の分配とし、その他の期につきましては、見送りとさせていただきます。信託期間中、累計で6,900円の分配を行わせていただきました。

## ▶ 償還価額

▶ **iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン**  
償還価額は、13,004円36銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。



2021年4月20日～2021年9月28日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	83	0.702	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(40)	(0.342)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(40)	(0.341)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.020)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.037	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(4)	(0.037)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	87	0.740	

期中の平均基準価額は、11,830円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

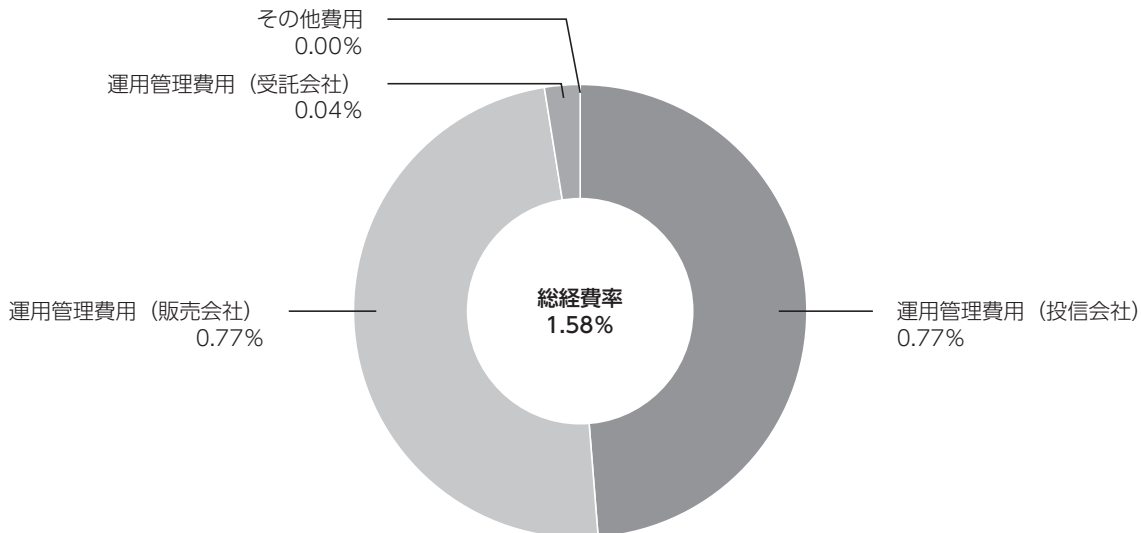
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.58%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年4月20日～2021年9月28日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド	千口 11,987	千円 27,434	千口 379,284	千円 954,108

## ○株式売買比率

(2021年4月20日～2021年9月28日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,373,647千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	815,106千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.68	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年4月20日～2021年9月28日)

## 利害関係人との取引状況

&lt; iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン &gt;

該当事項はございません。

&lt; iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド &gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	百万円 237	百万円 42	% 17.7	百万円 1,136	百万円 23	% 2.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	314千円
うち利害関係人への支払額 (B)	50千円
(B) / (A)	16.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年4月20日～2021年9月28日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 420	百万円 —	百万円 —	百万円 420	当初設定時における取得

### ○組入資産の明細

(2021年9月28日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口	数
iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド	千口 367,296	

### ○投資信託財産の構成

(2021年9月28日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 872,998	% 100.0
投資信託財産総額	872,998	100.0

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年9月28日現在)

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	872,998,928	
コール・ローン等	872,998,928	
(B) 負債	5,909,702	
未払信託報酬	5,898,845	
未払利息	262	
その他未払費用	10,595	
(C) 純資産総額(A-B)	867,089,226	
元本	666,767,979	
償還差益金	200,321,247	
(D) 受益権総口数	666,767,979口	
1万口当たり償還価額(C/D)	13,004円36銭	

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額 713,985,127円  
 期中追加設定元本額 24,097,804円  
 期中一部解約元本額 71,314,952円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.300436円です。

## ○損益の状況 (2021年4月20日～2021年9月28日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 632	
受取利息	9	
支払利息	△ 641	
(B) 有価証券売買損益	69,786,722	
売買益	72,570,638	
売買損	△ 2,783,916	
(C) 信託報酬等	△ 5,909,440	
(D) 当期損益金(A+B+C)	63,876,650	
(E) 前期繰越損益金	92,311,244	
(F) 追加信託差損益金	44,133,353	
(配当等相当額)	( 12,392,695)	
(売買損益相当額)	( 31,740,658)	
償還差益金(D+E+F)	200,321,247	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年4月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年9月28日		資産総額	872,998,928円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,909,702円
				純資産総額	867,089,226円
受益権口数	500,000,000口	666,767,979口	166,767,979口	受益権口数	666,767,979口
元本額	500,000,000円	666,767,979円	166,767,979円	1万口当たり償還金	13,004円36銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	620,990,006円	634,176,055円	10,212円	150円	1.5%
第2期	592,185,377	630,718,495	10,651	500	5.0
第3期	611,541,784	717,225,403	11,728	1,500	15.0
第4期	877,619,331	977,223,234	11,135	1,200	12.0
第5期	889,521,081	932,289,756	10,481	450	4.5
第6期	1,026,222,654	1,013,640,379	9,877	0	0.0
第7期	933,148,235	946,547,518	10,144	0	0.0
第8期	870,564,322	850,542,057	9,770	0	0.0
第9期	805,480,494	900,409,211	11,179	1,100	11.0
第10期	713,985,127	860,268,931	12,049	2,000	20.0

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	13,004円36銭
----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

## 【お知らせ】

受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2021年9月28日)

# iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド

## 《繰上償還(第11期)》信託終了日2021年9月27日

[計算期間：2021年4月20日～2021年9月27日]

「iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブマザーファンド」は、この度、約款の規定に基づき、9月27日に繰り上げて償還させていただきました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)に投資を行います。 iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。 株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定株式を含みます。)を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円 銭	%		%	%	%	百万円
7期(2019年10月17日)	14,853	3.5	192.75	2.0	97.3	—	946
8期(2020年4月17日)	14,447	△ 2.7	184.18	△ 4.4	98.0	—	811
9期(2020年10月19日)	18,449	27.7	214.27	16.3	97.4	—	898
10期(2021年4月19日)	23,372	26.7	244.11	13.9	96.9	—	858
(償還時)	(償還価額)						
11期(2021年9月27日)	25,382.48	8.6	272.76	11.7	—	—	865

(注) iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスとは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスは、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド(以下「STOXX社」)が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株組 入 比 率	株先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年4月19日	23,372	—	244.11	—	96.9	—
4月末	22,593	△3.3	236.52	△ 3.1	97.6	—
5月末	22,704	△2.9	238.41	△ 2.3	97.6	—
6月末	22,966	△1.7	245.77	0.7	97.3	—
7月末	22,284	△4.7	240.77	△ 1.4	97.9	—
8月末	23,154	△0.9	255.03	4.5	97.9	—
(償還時) 2021年9月27日	(償還価額) 25,382.48	8.6	272.76	11.7	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

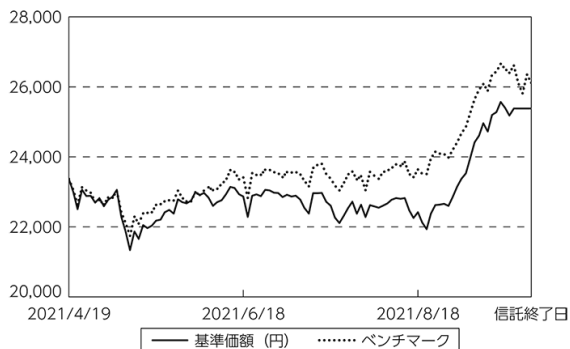
## ◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ8.6%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(11.7%)を3.1%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

菅首相が自民党総裁選挙への立候補を断念し新たな政権への政策期待が高まったことなどにより、国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

新型コロナウイルスの新規感染者数の再拡大による経済活動に対する先行き不透明感などから、国内株式市況が一時的に下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内株式市況

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期首から2021年8月中旬にかけては、新型コロナウイルスのワクチン接種普及などによる経済正常化への期待と、新型コロナウイルスの新規感染者数の再拡大などによる経済活動に対する先行き不透明感が綱引きする展開となり、一進一退で推移しました。
- ・8月下旬から信託終了日にかけては、菅首相が自民党総裁選挙への立候補を断念し新たな政権



への政策期待が高まったことなどから上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックスの構成銘柄に加え、高水準の自己資本利益率（ROE）を維持することが見込まれる銘柄や、ROEの改善余地が大きいと考えられる銘柄を投資対象とし、企業価値向上が期待できる銘柄を選別し投資しました。その後、繰上償還に向け2021年9月17日に保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（11.7%）を3.1%下回りました。

（プラス要因）

- ・業種配分要因：その他製品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。
- ・銘柄選択要因：「レーザーテック」、「ベイカレント・コンサルティング」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

（マイナス要因）

- ・業種配分要因：医薬品をベンチマークに対して概ねアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。
- ・銘柄選択要因：「ソフトバンクグループ」、「昭和電工」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

●償還価額

償還価額は、25,382円48銭となりました。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年4月20日～2021年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 11 (11)	% 0.046 (0.046)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合 計	11	0.046	
期中の平均基準価額は、22,988円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年4月20日～2021年9月27日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 60	千円 237,325	千株 251	千円 1,136,321

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2021年4月20日～2021年9月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,373,647千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	815,106千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.68

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年4月20日～2021年9月27日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 42	% 17.7		百万円 23	% 2.0	
	百万円 237			百万円 1,136		

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	384千円
うち利害関係人への支払額 (B)	50千円
(B) / (A)	13.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2021年9月27日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	
	株数	千株
<b>建設業</b>		
大成建設	1.5	
熊谷組	3.1	
五洋建設	7.4	
<b>食料品</b>		
ニチレイ	3.2	
<b>化学</b>		
昭和電工	5.3	
住友化学	22.9	
信越化学工業	1.8	
資生堂	2	
<b>医薬品</b>		
日本新薬	0.8	
JCRファーマ	3.4	
第一三共	7.4	
ペプチドリーム	2.3	
<b>非鉄金属</b>		
三井金属鉱業	4.2	
<b>機械</b>		
ツガミ	3.7	
オークマ	2.3	
FUJ I	3.6	
SMC	0.3	
ダイキン工業	0.4	
CKD	5.9	
<b>電気機器</b>		
イビデン	3.4	
富士電機	2.7	
安川電機	0.9	
日本電産	0.9	
ソニーグループ	2.8	
TDK	0.7	
アドバンテスト	2.5	
キーエンス	0.3	
レーザーテック	1.7	
カシオ計算機	4.2	

銘柄	期首(前期末)	
	株数	千株
ファナック		0.3
太陽誘電		1.7
SCREENホールディングス		1.5
東京エレクトロン		0.9
<b>輸送用機器</b>		
トヨタ自動車		0.9
<b>精密機器</b>		
オリンパス		4
HOYA		0.7
朝日インテック		3.1
<b>その他製品</b>		
バンダイナムコホールディングス		0.3
任天堂		0.1
<b>情報・通信業</b>		
出前館		1.4
T I S		6.3
GMOペイメントゲートウェイ		0.5
GMOグローバルサイン・ホールディングス		0.6
Zホールディングス		12.8
日本ユニシス		4.8
KDD I		6.5
スクウェア・エニックス・ホールディングス		1.8
ソフトバンクグループ		1.7
<b>卸売業</b>		
伊藤忠商事		3.1
岩谷産業		0.6
<b>小売業</b>		
FOOD & LIFE COMPANIE		1.7
良品計画		4.1
パン・パシフィック・インターナショナルホ		0.9
ニトリホールディングス		0.7
ファーストリテイリング		0.1
<b>証券、商品先物取引業</b>		
SBIホールディングス		2.8
<b>保険業</b>		
第一生命ホールディングス		5.5

銘柄	期首(前期末)	
	株数	千株
東京海上ホールディングス	3.7	
サービス業		
日本M&Aセンター	2	
エムスリー	2.5	
アウトソーシング	4.6	

銘柄	期首(前期末)	
	株数	千株
サイバーエージェント	3.4	
リクルートホールディングス	4.3	
ペイカレント・コンサルティング	0.3	
合計	191	
銘柄数	64	

## ○投資信託財産の構成

(2021年9月27日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 865,356	% 100.0
投資信託財産総額	865,356	100.0

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年9月27日現在)

項目	償還時
(A) 資産	円 865,356,598
コール・ローン等	865,356,598
(B) 負債	220
未払利息	220
(C) 純資産総額(A-B)	865,356,378
元本	340,926,636
償還差益金	524,429,742
(D) 受益権総口数	340,926,636口
1万口当たり償還価額(C/D)	25,382円48銭

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 367,296,718円  
期中追加設定元本額 11,987,361円  
期中一部解約元本額 38,357,443円  
また、1口当たり純資産額は、期末2,538,248円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150アクティブオープン 340,926,636円

## ○損益の状況 (2021年4月20日~2021年9月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 1,125,184
受取配当金	1,127,301
受取利息	25
その他収益金	40
支払利息	△ 2,182
(B) 有価証券売買損益	67,111,204
売買益	106,396,775
売買損	△ 39,285,571
(C) 当期損益金(A+B)	68,236,388
(D) 前期繰越損益金	491,140,263
(E) 追加信託差損益金	15,447,273
(F) 解約差損益金	△ 50,394,182
償還差益金(C+D+E+F)	524,429,742

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

当該投資信託を投資対象とする全ての投資信託が償還となるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。  
(2021年9月27日)